



公募第33回日本和紙絵画展で 東京都知事賞を受賞

小林昌子さん (北河原・72歳)

いろいろな和紙を使い台紙に貼って表現する、和紙絵。昨年11月26日〜12月2日に東京都美術館で開催された公益社団法人日本和紙絵画芸術協会主催の公募第33回日本和紙絵画展に、和紙絵の作品を出品し、東京都知事賞を受賞した小林昌子さんを紹介します。

和紙絵をやってみたくてずっと思っていたという小林さんは、平成18年に北河原公民館で行われた和紙絵講座を受講。講師から「初めてなのに良くできた」と褒められ、とてもうれしかったそうです。その後、平成20年に再度和紙絵講座を受けたのを機に、先生のもとに習いに行くようになりまし。小林さんは「違う種類の和紙を重ねることで濃淡を出したり、質感を変化させたりできるところが面白い」と和紙絵の魅力を語りま。また、完成した作品を公民館の文化祭で展示したり、季節に合わせて自宅の室内に飾ったりするのも、楽しみになっ



ているようです。平成27年3月に雅号「和唱」を取得し、創作作品に取り組みようになりました。稽古用セツトを使用したそれまでの作品とは違い、描くテーマを自分で探します。気に入った写真を参考にデッサンして制作し、展覧会へ出品しています。平成28年に公募日本和紙絵画展へ出品すると、初めての挑戦で入選を果たし、続く翌29年も入選。そして第33回の昨年の同展には、寺院を背景に、石塀の上にあじさいが咲いている様子を描いた作品「あじさい寺」を出品し、一般部(10号)で東京都知事賞を受賞したのです。「入選作品は会期中、東京都美術館内に展示されるので、これまでと同様に入選すればいいなと思っていたのですが、受賞の知らせを受けたときは、まさか、とても驚き、夢を見ているのかなと思っただけです」と受賞の喜びを口にしてくれました。審査委員長からは「あじさいの色彩の変化が美しく、石塀の深みのある色がうまく出せている。全体的に動きのある絵」という評価を受けました。「創作作品を手掛けるときは穏やかな気持ちになり、出来上がったときは達成感と満足感を得られるのが、和紙絵です。夢中になれるものがあるというのは、幸せなことですね。これからも自分のペースで作品を作っていきたいです」と話す小林さんから自然と笑みがこぼれます。次の公募展に向け、現在構想を練っている小林さん。次はどのような作品になるのかとても楽しみです。

私の作品

◎皆さんの作品を募集しています。俳句は毎月5日までに、はがき・封書で広報広聴課へ応募ください。

- | | | | |
|----------------|------------|------------------|-----------|
| 俳句 | 荒木 藤田 栄之 | 同郷の友と語らう日向ぼこ | 荒木 高澤よね子 |
| 枯蠅蟬悟りきつたる面構へ | 忍 大澤 由子 | ささやかに屠蘇を祝いし老ふたり | 天満 青柳 欣吾 |
| むばたまの闇夜をひらく初明り | 谷郷 柳瀬 久 | 冬畦火鋸杖僧のごとく立つ | 門井町 塚原 武夫 |
| 野良猫の小屋をつくりし霜の朝 | 南河原 今村 文女 | 老いの身の影も老いたり冬の道 | 佐間 須永 節子 |
| 実万両こで見ようか活けようか | 西新町 青木 泰山 | 日向ぼこまうしなう指定席 | 棚田町 深野美智子 |
| 兜太亡き秩父夜祭鎮魂歌 | 城西 鈴木 正夫 | 良きことも悪しきもありて年果てる | 持田 荻原 義久 |
| 平成の余韻残して除夜の鐘 | 矢場 高田みつ子 | くつきりと轍の跡や霜の橋 | 棚田町 春田 枕流 |
| 寒鯉の緋色寄り添ひ泡ふたつ | 富士見町 鈴木スイ子 | 病める身の世間に疎くなりし冬 | 須加 天沼 広吉 |
| 恙なく第九を聴きて年暮るる | 矢場 鈴木かづの | 母見舞うしろ髪ひく冬病棟 | 持田 伊藤 洋子 |
| ちくわぶを足して夫待つ雪の夜 | 持田 園部 貞雄 | 石灰を撒きし如くや霜の畑 | 谷郷 馬場 勇 |
| ふつつと小豆煮込むや年の暮 | | (三沢 一水 監修) | |

はじめまして



平成30年4月生まれのお子さんを募集します

○2月1日(金)〜28日(木)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線322)
※応募要領は市ホームページをご覧ください。
○応募者多数の場合は、3月1日(金)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



★★★ 平成30年2月生まれのおともだち ★★★



吉田 恵菜ちゃん(持田)
平成30年2月24日生まれ
父・正宏さん 母・裕美さん
「みんな笑顔になあれ☆」



栗原 あかりちゃん(門井町)
平成30年2月27日生まれ
父・宏明さん 母・眸さん
「元気に生まれてきてくれてありがとう!」



豊島 凜ちゃん(長野)
平成30年2月17日生まれ
父・諭さん 母・智美さん
「いつも笑顔をありがとう☆」



奥抜 太智ちゃん(矢場)
平成30年2月7日生まれ
父・宏さん 母・美和子さん
「奥抜家のアイドル!!」



長内 悠士郎ちゃん(清水町)
平成30年2月20日生まれ
父・誠さん 母・芽衣さん
「いつばいの笑顔と幸せをありがとう!♡」



木村 美結ちゃん(南河原)
平成30年2月26日生まれ
父・充さん 母・裕美さん
「たくさんの幸せをありがとう♡」

ぎょうだの会社を クローズアップ!!

株式会社ダイエー自動車販売

トータルサービスで自動車の年間取扱台数は約4,000台以上



会社プロフィール

代表取締役 井上 光広
【事業内容】新車・中古車販売、車検、板金・塗装、一般整備、レッカー、レンタカーなど
【所在地】若小玉1589-1

昭和41年から50年以上にわたり自動車のトータルサービス企業として成長し続けているのが、株式会社ダイエー自動車販売です。社名にある「ダイエー」は市内栄町で創業したことで、「大きく栄える」という由来があります。現在は26人の社員が最新鋭の設備の下、自動車の販売から車検、板金・塗装、故障修理、レッカー、レンタカーなどの自動車に係るさまざまな業務に当たっています。また、顧客の方が1の事故や故障のために24時間365日体制で対応しています。同社が取り扱う年間自動車台数は販売台数を除いても約4千台以上にもなり、今なお年々増加しているそうです。

代表取締役の井上光広さんは、「国産車、輸入車どちらでも対応可能な自動車に関する地域で唯一の当社のトータルサービスはお客様に大変喜ばれています。また、最近力を入れてるのが自社ローンで、他社では自動車ローン利用が難しい方にも車に乗ってもらえるようにと独自のローンサービスを行いました。支払いを終えることによ

り、その方の信用情報回復にも貢献することができ、「ローンが組めるようになった。カードが作れるようになった」という喜びの声を頂いています。地域的にも車が必要不可欠なことからローンが組めず困っている方、今後の人生を豊かにしたい方にぜひ相談してもらいたいです。経営理念にある「関わる全ての人の笑顔の為に」を本気で追求していきます」と自信に満ちた様子で話してくれました。

また、社員の皆さんは常に顧客への笑顔とより良いサービスを提供していることと年度ごとに社内で開催される「経営計画発表会」で意思統一を図る他、毎月社員一同が会する食事で「ミニニケーション」を深めているとのこと。

「お客様第一であるためには、働く社員も職場に満足してないと」と井上さんは微笑みます。成長し続ける同社は1月末に隣接する土地を約1000台の車両をゆつくりと見ることができ展示場に拡張しました。これからは便利で楽しい車のある生活のため、たくさんの人々を同社のトータルサービスで笑顔にしていこうと決まっています。

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。